

企業・団体と学生が協働し、企業・団体における環境に関する取組の新たな展開を大研究!

あいちの「人づくり」プロジェクト!



かがやけ★

あいちサステイナ研究所

かがやけ★あいちサステイナ研究所とは

未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるように、愛知県が立ち上げた「人づくり」プロジェクトです。パートナー企業・団体の環境課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や、企業・団体担当者とのディスカッションを実施して、解決策を企業・団体側に提案し、その成果を広くPRします。



平成29年6月11日開所式

2017年度
パートナー
企業・団体
(五十音順)

IKEA[®]

新日鐵住金
しんにってつずみきん

JAグループ愛知

STARBUCKS[®]

中部国際空港株式会社

DENSO
Crafting the Core



NAGOYA CASTLE



mizkan
やがて、いのちが変わるもの。

MUFG

株式会社 三菱東京UFJ銀行



名鉄観光

課題提示



かがやけ★
あいちサステイナ研究所

所長 愛知県知事 大村 秀章

研究員 学生 

解決策提案

広く情報を発信!

イベント・大学での発表



You Tube

twitter



Facebook



Instagram





課題

鉄の環境へのやさしさについて PR方法を検討せよ!

鉄は生産に大量のエネルギーを使用することなどから、環境負荷の大きい材料と思われがちだ。しかし、副産物や副生エネルギーをほぼ100%再利用でき、鉄を使った製品が寿命を迎えても、鉄自体は再資源化されるなど、製造からリサイクルまで(ライフサイクル)を考慮すると鉄製品は非常に環境性能の高い製品である。この鉄の環境優位性を広くPRする方法について検討する。

解決策

鉄(Fe)の魅力再発見!! 遊んでわかる子ども向けボードゲーム ～Fe(フェ)アリーの冒険～

解決策の方向性(考え方)

“鉄”は身の周りの日用品から社会を支えるインフラまで幅広く利用され、私たちの豊かな暮らしを支えている。多くの人々に、鉄の必要性や有用性を楽しく知ってもらい、鉄を始めとする資源を有効活用していく行動につながるPR方法を検討した。

具体的な展開案

楽しみながら学ぶボードゲーム:「Fe(フェ)アリーの冒険」

普段意識したことのない鉄の魅力や社会見学だけでは伝えきれない内容をボードゲームに集約!それが「Fe(フェ)アリーの冒険」だ!ルーレットを回しコマ(Fe(フェ)アリー)を進め、止まったマスでカードを手に入れ、ゴールを目指して競い合う。各マスでは、「私たちと鉄の関わり」「鉄の魅力」などの情報が散りばめられているところがポイント。自発的な気づきや発見を大切にしつつ、楽しみながら学べる!実施場所は、社会見学や環境イベント。ゲーム参加後は、ボードゲームが印刷されたクリアファイルを持ち帰ってもらい、友達や家族みんなで何度でも楽しんでほしい。



「Fe(フェ)アリーの冒険」を通じて伝えたい鉄の魅力

- ★生活を支える身近な素材であり、安価な安定供給が可能
- ★製造過程だけでなくリサイクルまで考えても環境負荷が小さく地球にやさしい
- ★加工性、強度性に優れ、金属製品の9割以上を占める
- ★製品の寿命が過ぎても何度でも何にでも生まれ変わる
- ★資源効率、エネルギー効率などの高い技術で生産 など

持続可能な社会へのポイント

「Fe(フェ)アリーの冒険」から鉄の魅力を再発見し、資源の有効活用につなげる。

- ①鉄製品が私たちの生活に不可欠なものであることを認識し、天然資源の恵みに感謝してモノを大切に使用し、使用後はリサイクル資源とする。
 - ②製造工程で私たちの家庭から出るプラスチックゴミを再利用していることを踏まえ、私たちも積極的にゴミの分別を行い、省資源・省エネルギーに貢献する。
- 「Fe(フェ)アリーの冒険」が、鉄を軸とする持続可能な社会を支える一員として行動するきっかけになる。

研究者からのメッセージ

鉄は何度でも生まれ変わる、また利用され続け得る素材です。私たちは、家電・乗り物・建物など“鉄”無くして生きていけません。これからは鉄は技術力を高めることで世界中の人々の暮らしを豊かにします。もっと鉄を身近に感じるため、「Fe(フェ)アリーの冒険」で一緒に遊びませんか?

チーム・しんにってつすみきん

リーダー ★名古屋市長立大学3年 加藤 祐香/名古屋工業大学1年 後藤 良介
愛知工業大学1年 大羽 一慧/椋山女学園大学3年 辻 奈津美

ファシリテーター

ピオトップ・ネットワーク中部 会長 長谷川 明子氏



課題

環境に配慮した 子ども向けツアーを検討し、実践せよ!

持続可能な社会に向けて、未来を見据えた環境配慮が必要となる今、昨年度の研究所では、大学生と留学生、そして地域住民が交流する環境ツアーを検討した。今年度は、次世代を担う大学生までの子ども世代を対象に、「環境」を基軸にしたツアーを検討する。愛知県の観光素材等と自由な発想を組み合わせるとともに、広報・実施を含めた一連の商品造成に取り組む。

解決策

日常OFF 楽しさON 親子でふれあう自然環境ツアー

解決策の方向性(考え方)

愛知県の自然の豊かさ、その恵みを子どもに実感してもらい、ツアーをきっかけに親子で環境問題を考え、行動につなげられる企画を検討し、実践した。

具体的な展開案

大学生ガイド付き!!

河川を基軸とした流域圏ツアーの企画、実践

企画のポイント

- ★ ツアーのエリアを尾張、西三河、東三河に分け、河川(庄内川、矢作川、豊川等)の流域圏で自然、文化、伝統などを体験する
- ★ 地域の環境施設、観光地を活用した親子で楽しめる体験ツアーとし、環境問題を考え、行動につなげるきっかけづくりとする
- ★ バスの中でも楽しみながら環境について学ぶ
- ★ 結果を検証し、次の環境ツアーへつなげる

実践

今回は、豊川流域圏での東三河ツアー「ぎょぎょッと驚くエコツアー」とし、「川・海」をテーマに自然やその恵み、食文化を学習



「ぎょぎょランド」で水族館バックヤード見学

豊川流域に生息する魚を学ぶとともに、普段入ることができない飼育現場で知識、興味を深掘り



「寒狭川広見ヤナ場」で鮎のつかみ取りと鮎料理

日本一の清流寒狭川で自然を感じながら、鮎のつかみ取りと、その恵みに感謝しながら鮎料理を満喫



「もっくる新城」で環境に配慮した施設説明と休憩

地元の間伐材を多く使用し、太陽光発電を設置した環境配慮型道の駅で足湯など一息



「ヤマサのちくわ竹の和」で手作りちくわ体験

伝統的工法を守り、新鮮な魚を原料としたヤマサのちくわを親子が一緒になって手作り体験



ツアーを通じ、様々な企画等を実施!

● 大学生企画! 車中で環境レクリエーション

環境クイズ、生き物ビンゴで車中から楽しく学習



● 子ども向け・大人向けアンケート調査の実施

持続可能な社会へのポイント

- 流域圏ごとに環境ツアーを実施することで、その地域の生物多様性や生態系を学習することができ、次世代の担い手育成に向けた様々な場を提供することができる。
- 都会の子どもたちには日常ではない体験を提供することができ、自然からの恩恵など、普段当たり前だと思ふことに家族ぐるみで感謝でき、環境活動へのきっかけとなる。

研究者からのメッセージ

私たちが企画した環境ツアーを実践できたことがとても嬉しいです。参加者からのアンケート結果では、「環境問題がわかった。」「自然体験が楽しかった」などの声がたくさんありました。これからも、流域圏を踏まえた大学生と連携した環境ツアーを継続し、次世代の担い手を一緒に育てていきましょう。



チーム・名鉄観光

リーダー ★愛知淑徳大学2年 中川 久留望 / 愛知淑徳大学2年 天野 萌
愛知淑徳大学2年 田中 星奈 / 愛知淑徳大学2年 山田 凌哉

ファシリテーター

愛知淑徳大学 ビジネス学部 教授 大塚 英揮氏

課題

地域の交通環境に配慮した来店方法をお客様に促す取組を検討せよ!

IKEA長久手は、小売業として中部地方最大規模の地中熱利用設備や同社過去最大級の太陽光発電の導入などCO₂削減に取り組み、最もサステナブルなストアとして設計されている。このストアを利用するお客様に、サステナビリティを意識していただき、公共交通機関の駅のすぐ近くであるという地域特性を生かして、交通環境に配慮した来店方法を提案する方策を検討する。

解決策

IKEA長久手と共に公共交通機関利用のライフスタイルを普及させよう

解決策の方向性(考え方)

長久手市内のリニモ沿線には、IKEA長久手をはじめとして、駅周辺に大規模商業施設の出店が相次いでいる。そこで、エコなIKEA長久手にお客様がエコな公共交通機関で来店する「環境にやさしいライフスタイル」を自発的に実践したくなるようなアイデアを考えた。

具体的な展開案

「ベリー」を活用した公共交通機関利用の「見える化」

IKEAの発祥地スウェーデンでは、伝統的な果物として「ベリー」が親しまれている。本提案ではベリーをきっかけに、お客様が北欧ライフを楽しみながら公共交通機関の利用を促す。IKEA長久手は、お客様の公共交通機関の利用度合に応じてベリーを植樹する。また、お客様は公共交通機関の利用に応じてIKEA長久手からベリーの苗をもらい、家庭で育てる。この取組は、ベリーが増えるという「見える化」が可能であり、多くの人々が協力することで、はじめて達成できる共通目標である。

取組結果の見える化

お客様全体の取組結果

敷地内にベリーを植樹



お客様個人の取組結果

家庭で育てるベリーの苗と交換



環境配慮行動のきっかけづくり「サステナブル小冊子」

長いスパンで公共交通機関利用を促進していくため、お客様の環境配慮行動のきっかけとなる「サステナブル小冊子」を作成する。リニモの利用促進につながる内容と、それに加えIKEA長久手のサステナビリティに関する取組なども紹介することで、見た人がIKEA長久手を通して環境について興味を持ってもらうきっかけを作る。また、次の来店メイン層となる学生も配布対象とし、「環境にやさしいライフスタイル」を考えるきっかけとしてもらう。



持続可能な社会へのポイント

- IKEA長久手を環境に対する興味を持ってもらうためのきっかけの場として活用する。
- 目標意識、貢献意識から行動変化を図る。

取組による効果

- お客様が公共交通機関を利用するというライフスタイルを送ることでCO₂削減、地域の渋滞解消につながる。このライフスタイルを少しずつ普及させていくことで、みんなが「サステナビリティ」を意識した行動を実践する社会を実現できる。
- 「環境にやさしいライフスタイル」を個人に対するインセンティブではなく、個人の目標意識や達成感による、自発性と持続性のある取組から実現できる。

IKEA® かがやけ★ あいちサステイナ研究所
環境課題を意識してもらう

お客様が環境課題を認知



環境配慮行動について考える



実際に行動



研究員からのメッセージ

これからも、地球温暖化や、地域の渋滞が課題となるので、IKEA長久手から与えられた課題を解決するためには、お客様が自発的に取り組めるものにして考えました。また、取組の持続性をもたせるために、この先のことを考えた若い世代にもアプローチが必要だと考えました。



チーム・イケア

リーダー ★名古屋学院大学3年 田中 碩人 / 名古屋学芸大学3年 佐野 加世子
南山大学大学院1年 趙 致行 / 名古屋大学大学院1年 長尾 和哉

ファシリテーター

中部大学 中部高等学術研究所 講師 岡本 肇氏



課題

商品や売り場でお客様がミツカンらしい 環境配慮を体感できる方策を検討せよ!

ミツカンでは持続可能な社会の実現に向け、伝統的な食文化を大切に、環境に配慮した様々な取組を進めており、昨年度の研究所では、同社の環境活動を地域の小学生に伝えるプログラムを検討し、実践した。今回は、お客様を対象に、メニュー選定から、購入、調理、喫食、保存、片付けまでの様々なシーンで、ミツカンらしい環境配慮を体感できる商品やサービスを検討する。

解決策

親孝行×酢の“す”ごい機能で醸し出そう エコと“す”マイル溢れる社会

解決策の方向性(考え方)

酢や納豆など日頃の家庭の食卓に上がる商品がミツカンの強み。家族の団らん、人との絆を食生活や気づきから考え、エコアクションにつながる解決策を検討した。

具体的な展開案

親孝行de使い切り

酢には健康な機能・エコな機能があることに気づいた。普段あまり酢に馴染みのない若い世代に酢の調理方法・活用方法を学んでもらい、「残ってしまったぼん酢・棚の中で眠っているお酢」を使って、日頃の感謝を込めて両親に手料理を振る舞う企画を提案。ここでは、若者が、片付け、清掃なども行い、使い切った後はあまり知られていない容器キャップの分別まで行う。家族の団らんを通して、健康・食生活だけでなく環境配慮にも関心を持ち、最後までお酢を使い切った“達成感”を感じ、家庭の“す”マイルにつなげる。



使い切った後にもひと工夫 “花瓶de酢テキ”

使い切った味ぼんの空容器や酢の空き瓶を花瓶などにリメイクし、「再利用」の意識を広める企画を提案。視覚的に華やかになった写真を若い世代が自発的にSNSへ投稿してもらうことを狙う。



SNSで“す”マイルキャンペーン発信

これらのキャンペーンをミツカンの活動としてSNSにより発信することを提案。若者に自発的に取組結果の投稿を行ってもらうとともに、若者の発信力や拡散力により活動の浸透をねらう。

Facebook	<ul style="list-style-type: none"> ● キャンペーン特設サイト ● Facebook ● LINE公式アカウント
LINE公式アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際に若者が実施 ● 自身のアカウントにより発信
	<ul style="list-style-type: none"> ● 酢を使用した環境・健康配慮型の親孝行が広まる ● 家庭の“す”マイルが広まる

持続可能な社会へのポイント

- 若い世代が「酢」を通じて料理に興味を持つことで、親の健康や食生活に対して関心を持つことができる。
- 親孝行を通して親と子のつながりを再確認する。
- 調理・喫食・保存・片付けを通して、食品ロスと資源の無駄の削減を実感することで、若者の環境意識の向上へつながる。

研究員からのメッセージ

私たちは酢の多様な機能を学ぶことで、ミツカンが社会に与える新たな可能性を見出しました。将来を担う、私たちと同世代の20代を中心に、「親孝行」を通してミツカンらしい環境配慮を感じてほしい。そして、酢を大“す”ぎになり、社会全体が環境配慮を考えるきっかけになれば、と願っております!



チーム・ミツカン

リーダー ★名古屋商科大学3年 堀田 彩華 / 三重大学2年 石河 まどか
中部大学3年 大須賀 隆起 / 愛知大学3年 別府 由依

ファシリテーター

NPO法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局長 三矢 勝司氏

課題

エコドライブを習得し 社会に普及させる方法を検討せよ!

デンソーは、グローバルに事業を展開している自動車部品メーカーであり、2016年6月に環境方針「デンソーエコビジョン2025」を策定した。製品、工場、社員、地域社会との共生の視点で様々な環境活動を推進しており、低炭素な暮らし・移動に貢献できるエコドライブも推奨している。社会全体がエコドライブを認知し、その普及に向けた方法を検討する。

解決策

「自分事」と「見える化」で エコドライブをあらゆる世代へ

解決策の方向性(考え方)

ドライバーだけでなく、社会全体への普及がテーマ。デンソーが取り組んでいる環境活動の活用をはじめ、様々な取組でエコドライブに触れる機会を増やす方法を検討した。

具体的な展開案

DENSO×子ども

子ども向け工作教室での「おきあがりこぼし」作り!

デンソーの社会貢献イベントの一環として、子ども向けに「おきあがりこぼし」の工作教室を開く。作った「おきあがりこぼし」を車内に置いてエコドライブが見える化。子どもから親への働きかけも合わせ、家族ぐるみでエコドライブを実践する。



解決案



DENSO×学生

社員から学生へ講習会 社員と学生でサークル設立

デンソー社員によるエコドライブ講習会を大学で行い、興味を持った学生とデンソー社員で、エコドライブ推進サークルを設立する。長期的なエコドライブの浸透につながるよう、次の世代を担う学生をターゲットとして、推進の輪を拡大していく。



DENSO×地域

既存の測定アプリを利用した普及プランを 自治体へ提案

エコドライブが見える化し、楽しく、自分事としてエコドライブを実践。エコドライブを点数で評価できるアプリを利用し、点数の良かった人には商品交換などのサービスを提供する。このプランを地方自治体をはじめ地域の多様な主体へと提案し、デンソーと地域が一体となってエコドライブを普及させる。

持続可能な 社会への ポイント

- 子どもや学生などが、初めて運転する前から、エコドライブに関心を持てる。
- 子どもから親、社員から学生など、人と人のつながりで展開。エコドライブを身近なものとして考えられる。
- 「おきあがりこぼし」やアプリを使い、楽しみながらエコドライブを実践。

エコドライブ の普及

交通事故の 減少による 安心・安全な 社会の実現

研究員からのメッセージ

私たちが住む愛知をもっと安心・安全な地域にしたいという思いのもとに、普及方法を検討しました。研究活動を通じて、私たちも楽しみながら簡単に、エコドライブを習得することができました。エコドライブが当たり前になる社会を実現し、愛知から日本、そして世界へと、この輪を広げていきたいです。

チーム・デンソー

リーダー ★名古屋市立大学3年 森 稜太 / 名城大学3年 福田 春菜
東海学園大学3年 森 時人 / 愛知淑徳大学3年 横田 恵実

ファシリテーター

愛知淑徳大学 CCC 秋田 有加里氏





課題

地域とホテルが連携し、「魅力ある“あいち”」を発信できる環境配慮企画について検討せよ!

同社では「環境に優しいホテル」を目指し、社内で“ECO LIFE PROJECT”を展開しており、昨年度の研究所では、廃棄キャンドルを使った環境イベントや生物多様性を盛り込んだ散策マップなどの企画を具体化した。今年度は、ホテルと地域が連携し、「環境首都あいち」の魅力を発信できる環境配慮企画について検討する。

解決策

ウェスティンナゴヤキャッスル発 “エシカル”発信計画 ～世界中を幸せにする行動を～

解決策の方向性(考え方)

課題の「環境配慮」の目的は持続可能な社会の実現であると気付いた。そこで「環境+全ての人の暮らしを守る=エシカル」の理念を伝える企画を考えた。

具体的な展開案

食べて世界を幸せに!エシカルランチ!!

あいちの食材を使ったランチを開発し、フェアトレードの飲み物のセットに“エシカル”を発信するメッセージカードを添えて、“エシカルランチ”として大学等で販売する。

ランチを食べるといふ身近なことから“エシカル”を知り、体感することで“エシカル”な行動の大切さを伝えるとともに、次の提案であるエシカルフェアのPRも行う。



エシカル(Ethical)とは地域域域と全ての人の暮らしを守る考え方です。ナゴヤキャッスルでは、CO2削減に貢献する体験できるイベントを実施します。右の参加フォームから参加できます。本報にやあいなさいの魅力をぜひ感じて下さい。
参加フォーム
QRコード
名古屋サステイナ研究所
名古屋サステイナ研究所
https://www.cstf.co.jp

あいちの農産物(おかえりやさい)



あいちのお米を使った米粉パン

ドリンクメニュー



●フェアトレードコーヒー
●フェアトレード紅茶
●フェアトレードカフェオレ
●あいち野菜のスムージー

地産地消
●輸送による環境負荷を軽減
●地域の産業を守る

フェアトレード
生産者の暮らしを守る

ウェディングで“エシカル”! ～エシカルフェアinナゴヤキャッスル～

大学生をはじめとした若者にウェディングを通して“エシカル”の大切さを伝える機会となるフェアを開催する。自分たちの幸せの象徴であるウェディング。今回は、一人でも多くの人の幸せも考えられるエシカルウェディングを通して、エシカルな大切さを伝える。そして「こんな結婚式を挙げたい!」、「エシカルな行動をしよう!」という思いを持ってもらう。

当日の流れ

- ①配席
- ②「エシカル」についての紹介
- ③エシカルウェディングのイメージ動画
- ④新郎・新婦(役)の登場
 - オーガニック生地
 - あいちの生地を用いたドレスやタキシード
- ⑤装飾品の紹介
 - フェアトレードやコンフリクトフリーの宝石
 - フェアトレードアクセサリー
- ⑥アフタヌーンティー
 - フェアトレードコーヒーや紅茶
 - あいちの素材を用いたお菓子
- ⑦キャンドルサービス
 - リユースキャンドル(ecoキャンドル)
- ⑧エシカル体験ワークショップ
 - 廃棄キャンドルを使ったエコキャンドルづくり
 - 演出のオーガニック生け花を利用したアクセサリーづくり



持続可能な社会へのポイント

- 「全ての人の暮らしを幸せにしよう」という意識をもつ大学生、若者が育まれる。
- 環境を大切にする行動が「楽しい」と実感でき、行動につながる。
- ナゴヤキャッスルのリードによって愛知県内の企業の意識が変わる。
- 持続可能な社会をつくる企業、次世代が創出される。

研究者からのメッセージ

持続可能な社会の実現には、全ての人の暮らしを考えた行動が必要であると考えています。エコホテルとして環境活動に積極的なウェスティンナゴヤキャッスルだからこそ、それを発展させて“エシカル”な行動ができる人づくりで持続可能な社会づくりをリードして頂きたいです!

- リーダー ★名古屋市立大学3年 江崎 哲生 / 椋山女学園大学3年 中村 春希
名古屋工業大学2年 野田 彩夏 / 愛知教育大学4年前田 憲治
- ファシリテーター 環境省中部環境パートナーシップオフィス チーフプロデューサー
新海 洋子氏



課題

耕作放棄地の問題を解消する 農業と環境が調和する方策を検討せよ!

全国有数の農業県である愛知を支えるJAグループ愛知では、持続可能な農業の実現に向けた取組を展開している。農業は、食料の生産だけでなく、地球温暖化の防止や自然環境の保全など多面的機能を有しているが、中山間地域では、過疎化、耕作放棄地の増加、災害など様々な問題を抱えているため、これらの問題を解消する農業と環境が調和する方策を検討する。

解決策

日本の農業を若者につなげたい。 耕作放棄地から考える農地の未来。

解決策の方向性(考え方)

高齢化が進み担い手不足が進む農業。耕作放棄地を減少させるのに加え、農業を次世代につなげていけるよう、地域・人づくりを大切にしたい方策を検討。



具体的な展開案

耕作放棄地を未然に防ぐ

農地の主な荒廃原因は担い手の消失。耕作放棄地を視察し、農地の荒廃原因は、相続時に相続人がその土地にいない、農業をできないなどであることが分かった。農業に取り組まない人に相続時に農地をどうするか考えてもらえるよう促す取組が大切だと考え、農地の活用対策を提案したパンフレットを作成し、相続時にJAから配布してもらうことを提案。



農地相続
パンフレット

ダメ!ゼッタイ! 耕作放棄地セミナー

地域の耕作放棄地問題に本気で取り組むリーダーの必要性を痛感。また、地域の活動に学生が加わり、つなげることで地域が元気になると考えて提案。私たちチーム・JAが企画するセミナーで、地域づくりに力を入れている方や、耕作放棄地を減らすことに成功した講師を招き、将来につながる担い手づくりを提案。

おじいちゃん・おばあちゃん食堂

耕作放棄地になりそうな農地を活用し、高齢者・地域のボランティア・農業高校生・農業サークルの大学生が定期的に集まり、一緒に米や野菜を育てる。収穫した食材を使って、みんなで楽しく料理を作り食事をする。耕作放棄地化を防ぐことに加え、高齢者の社会的孤立を防ぎ、農業に興味を持つ学生を増やす効果をあげたい。



持続可能な 社会への ポイント

- 耕作放棄地の解消 ●フードマイレージの減少 ●地域で取り組む担い手づくり
 - 地域のコミュニティの活性化 ●ゴミの不法投棄や犯罪の減少
- 他人ごとのように考えるのではなく、一人ひとりがこうした課題に関心をもち、課題を後回しにするのではなく、今からコツコツ課題に取り組むことで今生きる人、未来を生きる人が安心して、幸せに暮らせる社会を作り出していこう!

研究員からのメッセージ

愛知の豊かな農業を支えるJAグループ愛知。農業を考える上で避けては通れない耕作放棄地の解消という大きな課題。耕作放棄地の現地視察も行いながら課題に取り組みました。愛知の農業の発展と環境を調和させ、自分たちの未来へとつなげていきたいです!

チーム・JA

リーダー ★愛知淑徳大学3年 伊藤 奈央人 / 南山大学2年 寺田 彩人
日本福祉大学3年 花村 映理子 / 名古屋大学大学院1年 濱村 葉月

ファシリテーター

オーガニックファーマーズ名古屋 吉野 隆子氏





課題

私たちの社会貢献活動に共感し 行動できる仲間を増やす企画を検討せよ!

私たちが社会貢献活動の3本柱として推進している「コミュニティへの貢献」「倫理的な調達」「環境面でのリーダーシップ」の取組について、お客様と一緒に取り組んだり、お客様にわかりやすく伝え、共感いただき、共に行動を推進できる仲間になってもらうために店舗で活用できるプログラムの開発を検討する。

解決策

店舗とコミュニティを結ぶ共通目標 ～みんなのスターバックス～

解決策の方向性(考え方)

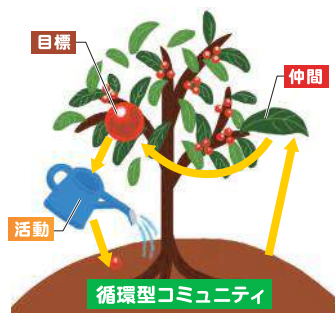
店舗でのインタビューの結果、お客様も店舗で働くスタッフ「パートナー」も、みんなスターバックスが大好き。スターバックスの Our Mission(企業理念)「人々の心を豊かで活力あるものにするために」に共感している。そこでパートナー・お客様だけでなく、地域みんなが一緒になって社会貢献活動を行っていく仕組みとプログラムを検討した。

具体的な展開案

仲間を増やそう!

各店舗では店長の定める運営目標が設定されているが、新たにお客様や地域の皆さんと一緒に、店舗や地域のコミュニティとの“共通目標”を設定する。共通目標の設定方法は店舗・地域の実情にあわせて決定する。

共通目標を実現していくプロセスの中で、多くの人を巻き込んで仲間を増やし、次の共通目標の設定・実現をループ化する“循環型コミュニティ”の実現を目指す。



地産地消でECO!

スターバックスでは、持続可能で倫理的に生産されたコーヒー豆の調達「倫理的な調達」に取り組んでおり、現在99%を達成している。これを受け、例年9月9日に全国の店舗で“99キャンペーン”を実施しており、お客様にコーヒー生産地とのつながりを感じていただいている。

コーヒー豆だけでなく、フードメニューの食材でも「倫理的な調達」を一層進め、地元の野菜を使った商品を高校生や大学生などの若い世代とパートナーと一緒に開発し、“99キャンペーン”の一環として9月9日に店舗で販売する。当日は、生産者から野菜の生産に込めた思いなどを語っていただき、美味しく楽しく学びを得られる日とする。



持続可能な社会へのポイント

- 共通目標を設定・達成していくことで、多くの方が参加し、環境について考え、自発的に行動できる仲間を増やせる。また、共通目標を達成していく過程を通じて、多くのコミュニティとの新たなつながりが生まれ、地域の活性化が図られる。
- 気軽に参加でき、楽しみながら知らず知らずのうちに環境保全の行動につながる。

研究員からのメッセージ

「人々の心を豊かで活力のあるものにするために」。スターバックスが掲げるOur Missionのように、様々な方がスターバックスを通じて、新たな学びや出会いを経ることで、日ごろの生活でも環境のことに限らず、人と人の“つながり”を大切にしたい豊かな社会になることが、チーム・スターバックス一同の願いです。

チーム・スターバックス

リーダー ★ 大同大学2年 中村 陸 / 愛知県立大学4年 杉山 綾香
中部大学3年 萩野 敦哉 / 愛知大学1年 堀尾 茉那

ファシリテーター

NPO法人アスクネット 代表理事 白上 昌子氏



課題

サステナブル空港として セントレアの屋内を緑で一杯にする企画を検討せよ!

セントレアは開港時から持続可能な社会の実現に向けて取り組んでおり、昨年度の研究所では空港島での新たな水素活用ビジョンを検討した。今回は新たな環境取組として、お客様の環境意識を醸成するために、既存のグリーンカーテンや花の展示等の取組に加えて、お客様がより一層サステナブル空港として体感でき、環境意識を育むことができる緑の企画展示等を検討する。

解決策

緑が“人”と空港をつなぐ あいちの緑を地域と共に世界へ発信!!

解決策の方向性(考え方)

空港を訪れたすべての人が、緑の素晴らしさを体感し共有したくなるような緑化の企画にあたり、コスト・継続性・インパクトを考慮するだけでなく、地域と密着して取り組んでいく、今までにない新しい緑化企画を検討した。

具体的な展開案

緑の休憩所「グリーンルーム」

空港内では出発前の慣れない手続きなどで不安になりがち。そこで誰もがリラックスでき、ほっと一息つける緑の休憩所「グリーンルーム」を創出する。

お客様が癒しや疲労回復を“体感”することで「自分でも育ててみたい!」「緑を大切にしたい!」という意識を醸成する。



写真スポット 「愛と世界とフラワーフォト」

あいちの花と緑で彩られた「愛と世界とフラワーフォト」。フォトジェニックなスポットとすることで、SNSで国内外に広く拡散され、セントレアの花と緑の取組が世界中に発信される。

地元学生によるデザイン発表の場や来訪者に花の苗をプレゼントするなどの仕組みとし、地域と空港のつながりを一層推進する。



種から育てる綿づくり

知多市の特産物である知多木綿の原料「和綿」の、種まきから収穫までを空港内で地域の協力を得て体験。和綿の栽培経験をもつ小学生が先生となり、地域の同年代の参加者に指導。また、収穫した綿を使ってクリスマスリースを作成。体験した小学生が次の先生となり、収穫した種で栽培し、緑だけでなく地域文化を未来へつなぐ。



和綿の花

(この他の提案)

さがしてフーちゃん!

空港内でフーちゃん探し。ゲーム感覚で楽しみながら、セントレアのエコ活動や環境についての豆知識を得る仕組み。



持続可能な社会へのポイント

セントレアでは地域の方をはじめ、日本各地・世界各国から人々が訪れる。そのような人々に緑の良さや地域の文化に触れてもらうことで、自然の大切さや愛知の魅力について知ってもらうことができる。そして、何度も訪れていただけるような、環境・地域・経済の全てがサステナブルな空港を目指す。

研究者からのメッセージ

私たちはセントレアでの調査を通じて、セントレアでは環境に配慮した様々な取組が行われていることを知りました。サステナブル空港であるためには、いま行われていること、そして、これから取り組むことに、セントレアを訪れる全ての人に関心を持ってもらうことがとても重要です。未来の社会へ向けて、私たち学生とともに、地域とつながるセントレアの取組を発信していきましょう。

チーム・セントレア リーダー ★愛知学院大学2年 浅井 郁哉 / 金城学院大学4年 佐伯 あすみ
星城大学3年 田中 高也 / 南山大学3年中島 由唯

ファシリテーター フィットラボ 代表 松本 イズミ氏



課題

環境配慮サービスを若い世代へ普及させてゆくアイデアを検討せよ!

お客様と一緒に持続可能な社会への貢献を目指す弊行では、昨年度の課題研究を踏まえ、ペーパーレス通帳「Eco通帳」に対する若い世代への認知度を上げることが、今後更なる普及の上での課題と認識している。今回の研究では、銀行だからこそできる「Eco通帳」を始めとする環境配慮サービスを若い世代が利用し、広く普及させてゆくアイデアについて検討する。

解決策

VISAデビットカード × Eco通帳 ～学生から始まるキャッシュレス&ペーパーレス社会の実現～

解決策の方向性(考え方)

お札や通帳の原材料である森林資源を保護するため、同社の環境配慮サービスである「VISAデビットカード」と「Eco通帳」を組み合わせた新たなサービスとして、学生が簡単・安心・便利に利用できるアイデアを検討した。

具体的な展開案

学生・Eco得キャッシュバックサービス

既存のVISAデビットカードのキャッシュバック率に学生ポイントを加算することにより、クレジットカードのポイント還元率との差を無くして、若者世代の普及拡大を図る。あわせてEco通帳併用キャッシュバック率を加算し、相乗効果を図る。

既存	基本 キャッシュバック率	入会後3ヶ月間	前年1年間の ご利用 20万円以上	前年1年間の ご利用 30万円以上	誕生日	提案	基本 キャッシュバック率	入会後3ヶ月間 または学生	前年1年間の ご利用 20万円以上	前年1年間の ご利用 30万円以上	誕生日	Eco通帳の 併用
	0.2%	+0.2%	+0.05%	さらに +0.05%	+0.1%		0.2%	+0.2%	+0.05%	さらに +0.05%	+0.1%	+0.1%

VISAデビットin海外

留学や旅行で多くの学生が海外へ。でも金銭管理が不安。そこで、学内の留学説明会で行員による金銭管理講座を開催し、VISAデビットカードが海外の銀行で現地通貨を引き出せることなどの魅力を伝え、安全・安心・便利な海外生活を説明する。



プロモツイート

多くの学生が利用しているTwitterを用いてプロモーションを行う。人気キャラクターを用いたキャンペーンを行い、同社アカウントのフォローの増加とリツイートによる拡散により、新たなサービスの認知度向上を狙う。



将来を見据えた提案

ATMでカンタン手続き

ほとんどの大学にはATMがあり、多くの学生が利用する利点を生かし、ATM画面にEco通帳の契約サイトをQRコードによって表示。投機的経費が高額となるため、将来的な切替えを目指す。



持続可能な社会へのポイント

VISAデビットカード

- 個人のメリット**
- 限度額が口座残高で使い過ぎない
- 社会のメリット**
- お札を作るための資源やコストが抑えられる



Eco通帳

- 個人のメリット**
- いつでもどこでもスマホで金銭管理
- 社会のメリット**
- 通帳が全くなると、東京ドーム3,935個分、27,600本の立木が保護される



持続可能な社会

- ↑
- 貢献
- キャッシュレス社会
- +
- ペーパーレス社会
- ↑
- 金融機関と若者が行動



研究員からのメッセージ

国際的に主流となりつつあるキャッシュレス、ペーパーレス化。VISAデビットカードとEco通帳が持つ利点の相乗効果により、若者世代に普及させ、森林資源が守られる社会を金融機関と学生から広げていきましょう。

チーム・BTMU

リーダー ★愛知県立大学3年 佐藤 香苗 / 愛知県立大学大学院1年 塚本 白
愛知県立大学2年 丹羽 開紀 / 愛知県立大学4年 守田 知世

ファシリテーター

NPO法人泉京・垂井 河合 良太氏





かがやけ★ あいちサステイナ研究所

HP

<https://sustaina-ken.net>



Facebook

<https://www.facebook.com/kagayaken>

twitter



@kagayake_aichi



Instagram

kagayake_aichi

